

Vol. 4

昭和63年12月23日

学校法人コア学園
 飯田コンピュータ専門学校
 〒395 長野県飯田市松尾明7591
 ☎0265-22-5111・FAX.0265-22-5100

情報二種

六人が合格

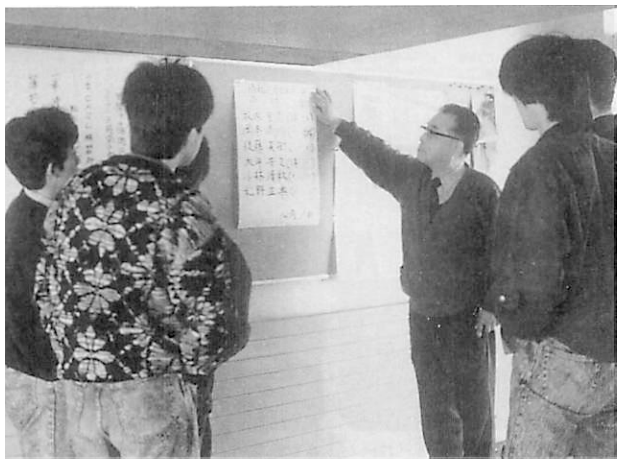
二年は：牧内・岡本・後藤君
 一年は：大平・小林・松野君

十月十六日に行われた情報処理技術者試験の結果が先ごろ発表され、当校から六名が、第二種の関門をみごと突破することとなりました。

今回が在学中は最後の受験となる二年生と、更に一方では初めての受験である一年生とがこの試験にチャレンジしましたが、結果としては、一年生の活躍に特に目を引くものがあったと言えます。また、二年生も過去の結果と合計すると、在学中に九名の学生が合格したことになりますので、受

験者に対する合格率は決して良いものとは言えませんが、情報処理の専門コース以外の学生も毎回数多く挑戦して来た結果でもあり、専門コースだけを見ればまずまずの成果と言えるのではないのでしょうか。

この二年間で当校の第二種合格者は十二名となりましたが、一年生にとっては後二回のチャンスがありますから、是非全員合格するよう努力してもらいたいと思います。また、二年生は卒業後も機会をのがさず挑戦してほしいものです。



晴れの合格者名簿を掲出される校長先生

全国では
 一万二、六二五人が合格

通産省の発表(十一月二十九日)によると、この秋実施した情報処理技術者試験のうち第二種の合格者は、全国で二万二千六百十五人(受験者総数十一万四千四百十六人)という結果でした。

この中には、女性が四千八百二人を占めており、女性の合格率の高いことに特徴があった様です。また、合格者の平均年齢は二十二・八歳(最年少十四歳、最年長六十三歳)とのことです。専修学校・各種学校生の合格率が前回を上回り伸びたことも、特徴の一つと言われています。

南向きの大きな窓

校長の独り言

松野 研二

人間は一人でいろいろなことを考えるものである。昔の人は「小人閑居して不善を為す」と言ったそうであるが、私は必ずしもそうではないと思っている。それは小人ではなく大人だからなどと大それたことを申すつもりは毛頭ない。誰でも一人で静かに物事を考える時間がほしいものだと思うからである。閑居と忙中の閑は趣が違ってもいいが、その過し方は人それぞれであり有意義な時間だと思ふ。万人にわけへだてなく与えられている時間を如何に過すかによって人生は変わるのではないだろうか。

とここで、そんな時間が与えられた時、校長としての自分にいろいろと問いかけてみる。最近思うことをいくつか書いてみる。

。大部分の学生諸君は喜々として学校に来てくれていますが、○○君や△△さんは欠席がちのようなので何とか対策

を講じてあげなければ。いろいろな悩みが多い年令のように思うが深刻な問題をかかえている人はいないだろうか。

。まだ一言も会話を交したことがない二年生がいるので、卒業までには何とかして全員の人とお茶でも飲みながら話してみたいなあ。

。進学人口が急減する昭和六十八年以降の学生募集対策を今から考えねばならないので、各方面の有識者による対策委員会のようなものを考えたらどうかなあ。

。飯田市が四億円も投資した学校だから、来年度はもっと大勢入学してほしいなあ。等々。



情報二種

合格者の横顔

通産省により実施された今年度秋期の情報処理技術者試験（一ページ掲載）に、みごと合格した六名を紹介します。

それぞれ、あっさりと感じを述べてくれましたが、六名とも相当に努力をされた跡が伺えます。



後藤英機（2年・情報処理コース）
○飯田風越高校出身
＜先の目標をめざして、今からさらにがんばりたいと思っています。＞



岡本高明（2年・情報処理コース）
○飯田工業高校出身
＜第二種が当面の目標だったので達成できてホットしています。＞



牧内重彦（2年・電子情報コース）
○飯田風越高校出身
＜試験がマークシート方式なので、正直、助かりました。ホント。＞

情報処理試験とは

この試験は、情報処理システムの設計に必要な知識・技能について行われる「特種情報処理技術者試験」、プログラムの作成に必要な知識・技能について試験が行われる「第一種情報処理技術者試験」、そして、プログラム作成に必要な知識・技能が試される「第二種情報処理技術者試験」と区分されており、合格者には通産大臣から合格証書が交付される国家試験。なお更に上位には「システム監査技術者試験」もある。



松野正典（1年・情報処理コース）
○飯田高校出身
＜うれしいです。次の目標は第一種です。がんばるゾ。＞



小林清秋（1年・情報処理コース）
○飯田長姫高校出身
＜別に。でもうれしかった。これをステップにがんばりたい。＞



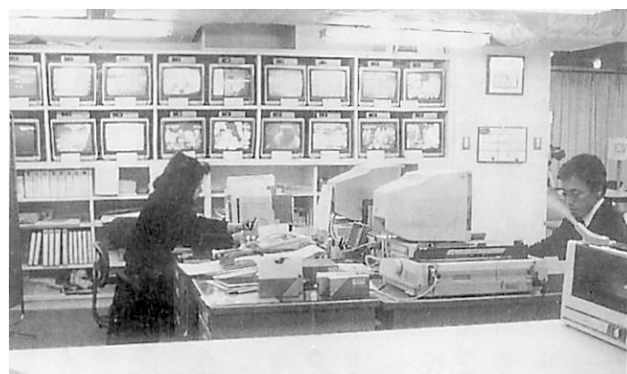
大平芳久（1年・情報処理コース）
○飯田長姫高校出身
＜高校からの夢がかなったので良かった。次をねらいたい。＞

カメラ訪問 No.3

おじやまします

市内常盤町の飯田商工会館地下一階。大きなガラスのドアを開いてオフィスに一步踏み込むと、その正面にずらりと並んだテレビ・テレビ・テレビ。更に奥にはスタジオが設備され、まぶしいばかりの照明と高価な器材がところ狭しと置かれ

今まで以上にテレビが楽しくなった。そんな話題のニューメディア、CATVの飯田ケーブルテレビにおじやましました。



モニターテレビがずらりと並んだICTVのオフィス

お話しをお聞きした後、器材を見せていただいた。一台何百、何千万もしような器材が沢山。それらを実際に作動させて、分り易い説明をしていただいた。今はまだスタートしたばかりだが、二期、三期と放送の範囲が広がれば、まさにとれたての情報を茶の間に届けること出来る、すばらしいCATVになるものと期待がされます。

市の新鮮な情報が得られるようになった。しかも今まで見ていた県下の放送も美しい画面になり、今までのように見られなくなった。そして、CATVの放送も、飯田ケーブルテレビにおじやましました。

「とれたての情報を、あなたのもとへ」の言葉どおり、大都市の新鮮な情報が得られるようになった。しかも今まで見ていた県下の放送も美しい画面になり、今までのように見られなくなった。そして、CATVの放送も、飯田ケーブルテレビにおじやましました。

二十一世紀に向けてニューメディアの世界へ歩み出した飯田市。その飯田市に情報産業の先端メディア・ケーブルテレビが誕生して三ヶ月。

「とれたての情報を、あなたのもとへ」の言葉どおり、大都市の新鮮な情報が得られるようになった。しかも今まで見ていた県下の放送も美しい画面になり、今までのように見られなくなった。そして、CATVの放送も、飯田ケーブルテレビにおじやましました。

(株)飯田ケーブルテレビ

プロフィール

設立	昭和61年5月16日
所在地	飯田市常盤町41 飯田商工会館地下1階 TEL (0265) 52-5406
代表者	後藤 光正
資本金	116,400千円
事業内容	有線テレビジョン放送事業
従業員数	7名

画した加入率だそうで、今後第二期、第三期工事と計画に基づいて着々と展開が図られていく。諏訪地方では五十パーセント以上が加入しているそうで、飯田も将来そうなることを期待したいものである。

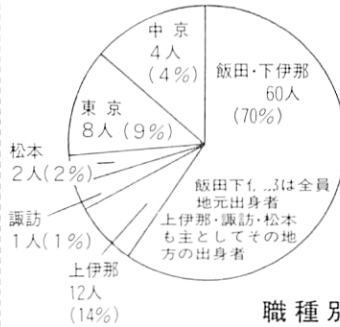
最新就職状況

二年生の就職内定状況をまとめてみました。それによると、本年度は、二百数十を越える企業等からの求人があり、一人当たり五件以上の求人をお願いしたことになります。また業種としては、コンピュータ関係が多く、専門職としての求人がほとんどであったということです。

こうした求人に対して、すでにほぼ全員がそれぞれ希望の企業に内定をしていますが、その就職地域を見ますと、圧倒的に「地元へ就職」との結果です。また、その職種別では、コ

ンピュータ関係に携わる者が大半で、これは企業のOA化に伴うものと考えられ、その人材として大きな期待が寄せられているものと言えるでしょう。

就職地域別内定状況



職種別内定状況

職種	主として電 算関係事務	事務(コ ンピュー タに携 わると が多い)	技 術	営 業	研 究
電子情報	19	3	7	1	0
情報処理	21	6	3	1	1
OAビジネス	8	17	0	0	0
計	48	26	10	2	1

日本の心にふれる

茶道・体験入学

先日、日本文化の代表ともいえる茶道を体験して来ました。我が校では、OAと、情報科の人が習うことができます。私が体験入学したのは、一年のOAの授業でした。

茶道は、礼儀を重んじるといふことを聞いたことがありますが、そのせいか、作法室に入ると少し緊張した空気が漂っていました。始め幾度かみんなで頭を下げました。お茶をたててくれる人は道具を準備しています。そしてその動作の一つ一つがきちんと決められているようです。次は、はけみたいなものでいよいよお茶をたててくれます。そのシャカシャカという音を聞いてみると、何だか少し緊張がほぐれて来るような気がします。大きな茶碗からお茶をすすります。少しにがく、なんともいえない味がしました。茶道を体験して、礼儀というものに少し触れた気がします。



茶道は礼に始まり、礼に終わる。これが日本文化の心だと思いをした。(O生)

はじける若さ!

—スポーツ大会—



2日間 エネルギーギッシュに

63.11.21~22 スポーツ大会成績表

■テニス 1位 1年電子(中平・木下) 2位 1年電子(江口・Mr.X) 3位 2年電子(小室・牧内)	■バレーボール 1位 2年電子 2位 1年情報 3位 1年OA	■ソフトボール 1位 特攻野郎Aチーム 2位 Team Lucky Start! 3位 ピンポンパン
◎みなさん本当にごくろうさまでした。(実行委員会)	■バスケットボール 1位 2年情報麻雀チーム 2位 2年情報efチーム 3位 1年情報	■バドミントン 1位 2年情報(原・亀山) 2位 2年情報(今村・田畑) 3位 2年情報(塩沢・岡本)





助手 下平むつ子先生
(ワープロ担当)

講師 松島 弘明先生
(ハードウェア担当)

講師 北原かおり先生
(ソフトウェア担当)



非常勤講師 下田 一郎先生
(ペン習字担当)

非常勤講師 小池 茂彦先生
(英語担当)

非常勤講師 小原 謙一先生
(日本語文章担当)



進路主任 松尾 義丸先生

非常勤講師 熊谷里恵子先生
(茶道・華道担当)

非常勤講師 篠田 健先生
(簿記・経営学担当)

スケッチ

キャンパス



2年電子担任 久保田真司先生
(ハードウェア担当)



教務室長 松本 喬先生
(ハードウェア担当)



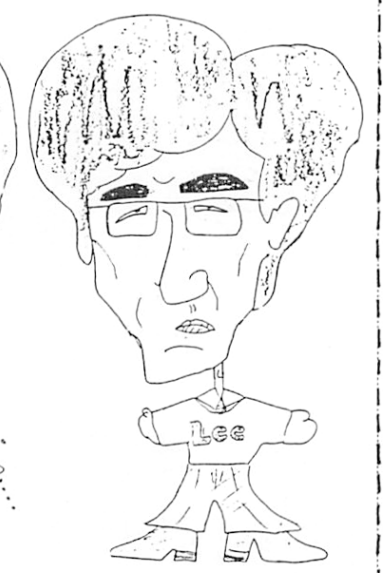
学校長 林 研二先生



このコーナーの編集にあたっては、2年生の熊谷勇治さん(電子情報コース)に、イラストの特技を十二分に発揮していただき、また、大変なご努力をいただきました。御礼申し上げます。
(広報出版委員会)



2年OA担任 伊藤 康彦先生
(ソフトウェア担当)



2年情報担任 久保田 浩先生
(ソフトウェア担当)



1年OA担任 久保田克彦先生
(ソフトウェア担当)



1年情報担任 橋本 勝行先生
(ソフトウェア担当)



1年電子担任 下平 達郎先生
(ハードウェア担当)

卒業研究あれこれ

二年生は今、卒業研究のまとめの真っ最中。それぞれチームを組んで、さまざまなテーマに取り組んでいます。そんな様子を各コースから紹介してもらいました。

心電図の研究

二年電子 片桐 健男 萩原 浩二 中島 真一 清水 文雄

私たちが、片桐(健)・萩原・中島(真)・清水の四名は、十月からスタートした卒業研究のテーマとして、心臓の電気信号(心電図)を選びました。

初めに、心電図を取るために必要な心電形とはどのような物かを図書館へ行ったり、先生に聞いたりして調べました。今は心電形の製作に入っています。私たちが作っている心電形は心臓が出している1mv〜10mvの電圧を絶縁のためのアイソレーションアンプを通して、



卒業十卒業 卒業

二年OA 金原あい子 野沢 礼子 宮沢 淳子

一年掛けて研究するんだから、立派な作品を仕上げたいと、ファイトを燃やし、『書籍在庫管理』とテーマを決め、計画書を提出したのは六月であった。

卒業研究について

二年情報

岡本 高明 亀山 敏親 北沢 範子 田畑 英之

私達の研究内容は、AIです。AIとは、ARTIFICIAL INTELLIGENCEの略で、『人工知能』という意味です。四人が進めてはいますが、何しろ、はじめての試みなので思うように進んでいない状況です。進んでいない原因の一つに資料不足という事が上げられ、それでも資料を読んで、真にせまろうとすると「まだまだ研究段階なので」とか、「よく分からない」などハッキリしない事がどうも多いみたいですね。きっと研究課題にしようと思っただけは、このようにあるところにあると思いま

す。始めに何から取り組んでいったらいいのか分からなかったが、ゆくゆくは、ある一つの結果として提出したいと思っています。

まずは、AIについての基礎知識から始めました。現在は、人工知能用語としてPROLOG(プロログ)を選び学習を進めています。PROLOGは、論理型言語とも言われています。プログラムを動かす第一歩としてサザエさん一家を取り上げ、現在は自動車検索システムを目標に頑張っている状態です。



目標は立てたものの、形にならず、グループの誰かがやるだろうとの甘えて放置し、目をつむり、お先真っ暗な日々が続く、夏は過ぎていった。後期になり、周囲の行動が気になりました。卒研している仲間の輝く姿に刺激されて、マシンに向かう時間が多くなった。参考書やノートを頼りに設計するがイメージ通りに動かぬプログラムを前にして、焦りに焦っている。

今、班長に弱音を吐き手助けしてもらい、全体の50%の完成度となり、盛り上がりつつあると思う。年内を目標に拍車をかけ、残った時間は完成品で遊・遊・遊し、卒業したい。(1生)

各種試験合格者名簿

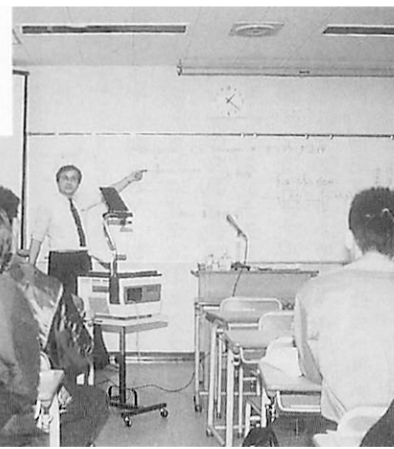
●第2種情報処理技術者試験	牧内 重彦 (2電)	岡本 高明 (2情)	後藤 英樹 (2情)	●日商簿記検定	熊谷 めぐみ (2情)	金原あい子 (2OA)
	大平 芳久 (1情)	小林 清秋 (1情)	松野 正典 (1情)	2級	吉沢 八千江 (2OA)	
●日商ワープロ検定	吉沢 八千江 (2OA)			3級	北沢 範子 (2情)	鈴木 智彦 (2情)
2級	市瀬 福恵 (1情)	清水千栄子 (1情)	田中 静香 (1OA)		宮下 保恵 (1情)	宮下 持彦 (2情)
3級	市瀬 英子 (2情)	竹内美保子 (1情)	小池由美子 (1OA)		市瀬 福恵 (1情)	小原 恵司 (1情)
4級	中嶋 昭子 (1OA)	庭村 美志 (1OA)	林 敦子 (1OA)		市瀬 福恵 (1情)	清水千栄子 (1情)
	増田 俊男 (1OA)	松尾久美子 (1OA)	峯沢 英 (1情)		市瀬 福恵 (1情)	中島 正雄 (1情)
	山田 秀敏 (1OA)				市瀬 福恵 (1情)	小池由美子 (1OA)
●情報処理能力認定試験					市瀬 福恵 (1情)	
A級	岡本 高明 (2情)	後藤 英樹 (2情)	吉沢 八千江 (2OA)		市瀬 福恵 (1情)	大平 芳久 (1情)
	小林 清秋 (1情)	松野 正典 (1情)	北沢 範子 (2情)		市瀬 福恵 (1情)	
B級	久保田 智子 (2情)	林 裕司 (2情)	市瀬 福恵 (1情)		市瀬 福恵 (1情)	細田 剛 (1電)
	鈴木 智子 (2情)	今村 磨美子 (1情)	市瀬 福恵 (1情)		市瀬 福恵 (1情)	清水千栄子 (1情)
	松下 義憲 (1電)	小林 弘子 (1OA)	市瀬 福恵 (1情)		市瀬 福恵 (1情)	
	小池由美子 (1OA)		市瀬 福恵 (1情)		市瀬 福恵 (1情)	

豊かな人間性を求めて

ユニークな総合講座

私たちの学校では、週に一度「総合講座」という授業が行われています。主に一年生を対象とした授業で、毎回さまざまなお話しをお聞きすることが出来ます。講師には各界の著名な方や大学教授、八十歳を優に越えられた元気なおばあさんまで、多様なジャンルの方が勢揃い。内容も、それこそ科学技術の専門的なものから人間学までと幅広い。このような学校としては、大変ユニークな授業ではないでしょうか。学生は講義を熱心に聞きながらメモを取り、その都

度レポートを提出しますが、それには教務の先生方から校長先生までが目を通されています。OHPを使って分かり易く説明をされた大学の教授の講義、NTTの方によるパソコン通信の実演、また、全日本女子バレーで活躍された方の厳しい選手生活のお話し等は、非常に興味深く感じました。そして何ととっても、



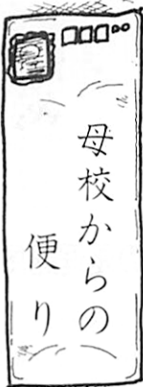
63年度 総合講座・テーマと講師一覧

5/6	「多極分散型の国土づくりと情報化時代」	日本経済新聞社 地方部次長	森野 美徳
5/10	「電子情報工学を学ぶ人のために」	信州大学工学部教授	丹野 頼元
5/17	「地方自治行政のアウトライン」	飯田市助役	村松 芳孝
5/24	「コンピュータによる分散処理」	名古屋工業大学教授	石井 直宏
5/31	「フェアプレー賞あれこれ」	元下伊那教育会長	毛蓮 章平
6/7	「Q.C的なものの考え方」	信南サービス 本部長	清水 和人
6/14	「NTTネットワークとパソコン通信」	NTT飯田電報電話局 係長	松本 俊一
6/21	「いまコンピュータジャーナリスト」	井上野水 水野 一郎	井上 一郎
6/28	「私と焼もの」	飯田教育事務所 陶芸家	塚本 光功
7/5	「同和問題を考える」	信州大学工学部教授	市川 幸男
7/12	「グラフ理論」	信州大学工学部教授	平塚 寛治
7/19	「最近の精密工学」	信州大学工学部教授	高橋 寛治
8/30	「会社とは」	信州大学工学部教授	高橋 寛治
9/6	「伊那谷の魅力と私」	飯田市役所企画課次長	高橋 寛治
9/13	「ソフトウェアカラグループ」	名古屋営業所長	島山 章
9/20	「人間関係をよくする話し方」	機平和時計製作所 社長	宮下 秀夫
10/11	学校長講話		
10/18	「生きる」	前飯田創造館館長	坂根 君人
10/25	「音の向こうに色が見える」	SBCアナウンサー	久保田 くに子
11/1	「私とバレーボール」	元全日本バレーボールキャプテン	野口 京子
11/8	「揺れ動く2つの心」	元中学校教諭	吉原 昌夫
11/15	「21世紀をかく考える」	元民生委員	今村 安
11/29	「アナログ・デジタル変換回路」	信州大学工学部教授	丹野 頼元
12/6	「最近の精密工学」	信州大学工学部教授	市川 誠
12/13	「計算機による信号処理と学習」	名古屋工業大学教授	石井 直宏
12/20	「最近の注目すべき動き」	コンピュータジャーナリスト	井上 一郎

今が大切

茅野高校進路係 横川 秀明

職業の多様化、仕事内容の専門化にともない企業は、専門的技術を持つ人を求めています。貴校も第一期卒業生をむかえ、進路も内定したようでおめでとございます。本当に勉強



したい人が、心構えと目的意識をしっかり持って勉学に励んだ二年間だったと思います。長い人生の中で今が一番勉強できる時です。その能力をいかすべく、さらに飛躍して下さい。

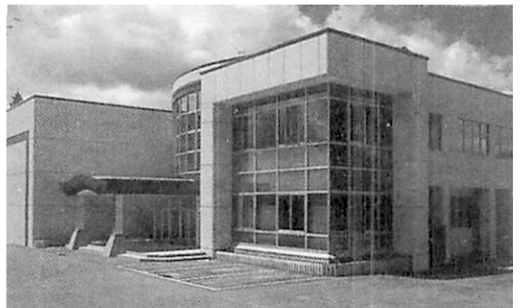
昭和64年度 学生募集要項

■入学資格	高等学校卒業(見込含む)、または同等以上の学力を有する者で、年齢・性別は問いません。
■設置学科	情報システム工学科 (昼間) 35名
	情報システム工学科 (夜間) 35名
	情報システム工学科 (2年制) 30名
OAビ	
■学費支援制度等	日本育英会の奨学金貸与制度や、各自治体の奨学金制度、コア奨学金制度が適用となりますし、特待生制度・学制制度などもあります。
■選考方法	書類選考・教養試験・適性試験面接 (試験日) 1月14日(土)以降随時
●お問い合わせ	お申し込み・資料のご請求は長野県飯田市松尾明7591 飯田コンピュータ専門学校 事務室 千395 TEL (0265) 22-5111

姉妹校を尋ねて

新庄コンピュータ専門学校

所在地	山形県新庄市十日町 6162-11	設置学科・募集定員	情報システム工学科 2年60名
電話	0233(29)2121		O A ビジネス科 2年20名
学校長	義高久男		S E 専攻講座 1年10名



今年もすでに三度の降雪で、学窓からは白い野山が見渡せるとのこと。一メートルにも及ぶ雪原が浮かび上がる本格的な冬が近い新庄コンピュータ専門学校は、やはり昭和六十二年度、私たちと一緒に開校した兄弟校です。

長野県にあっては比較的雪の少ない私たちの地方にとつてみると、ウィンタースポーツのメッカはうらやましい限りですが、この新庄市を中心とする最上広域市町村圏(八市町村)も、域外への若者の流出を克服し、活力と魅力ある地域づくりを推進しようとの大きな目的や願いをもってこの学校が開設されました。

その意味で、圏域内の行政機関や経済団体、企業の皆さんをはじめとする多くの方々の支援、

協力体制が組まれていて、協会、後援会、育成会などが挙げて学校をバックアップされています。

そうした体制の中で、さまざまな先導的な実践活動が行われており、特に昨年十二月設立された、「東北情報センター」は同校との緊密な連携によって運営がなされ、将来への発展が期待されていて、その動向は全国的に注目を受けているところで、コンピュータマッピング等を主な業務とする同センターの機能に、実習による技術教育をめざす学校とがマッチして、現場における「社会人・企業人たる実務教育」が、生き生きと展開されている力強い学校です。



HOTLINE

64推せん入試行わる

新年度(昭和六十四年度)の入学生の推薦選考試験は、去る十二月三日(土)当校会場にて実施されました。



チャレンジノマイコン試験

去る十一月二十日、第三回マイコン試験が行われた。電子情報の授業は、「マイコン対策一本」という感じで、受験者である私も一応「何とかなるのでは」という希望を持っていて、

コアR&Dセンター 情報大学校オープン

飯田コンピュータ専門学校の設定、運営の母体であるコアグループ(代表・種村良平氏)は、先ごろ、川崎市麻生区南黒川に、コア総合研究所、コアシステムウェア開発センター、更にコア情報大学校の機能を有す、コアR&Dセンターをオープンしました。

この内の推薦による出願者に対する試験が、一斉に行われたところである。しかし、現実には優しいものではなく、問題用紙を開けるとそこには未知の世界が待っている。おそらく結果は惨たんたるものだろう。帰りのバスは皆ふっ切れたのか、和やかなムードが

伝言板

- 12/23 クリスマスパティー 終業日
- 12/26~1/7 冬休み
- 1/4~1/6 スキー教室
- 1/9 始業日
- 1/14 一般入学試験
- 2/27~3/4 卒業試験
- 3/10~3/16 後定期試験
- 3/17 卒業式
- 3/23 終業日
- 3/24~ 春休み

漂っていたが、多分次の試験もレベルアップしてくるだろうから「受かるぞ」という望みを持って、更に努力をしていきたいと思う。(H生)

*この試験の結果はまだ公表されていません。次回のアップルではお伝えできると思います。

ソフト開発拠点に コアグループ飯田事業所

コアグループは、来年四月を目途に飯田市内にソフトウェア開発拠点を開設するため、この十一月初めから準備事務と開発業務に着手しました。

このコンピュタ専門学校の開設を確認し合った、とり決めの事項の一つでもあり、人材を地域へ定着させ、この地域の情報化を促進しようとする大きな構想の第一歩です。

「コンピュータ」辞典

コンピュータの処理速度

オリンピックのときの時計などでご存知のように、人間の動作について問題になるのは、せいぜい1/10秒か1/100秒の単位です。

しかし、コンピュータの世界ではもっとも小さい単位が使われています。たとえば、ミリ秒(ms) 1,000分の1秒、マイクロ秒(us) 100万分の1秒、ナノ秒(ns) 10億分の1秒。

コンピュータである計算を実行する場合、「〇〇マイクロ秒かかる」と表現します。

コンピュータは、電子の流れを利用して計算や処理をします。電子の速さは光の速さと同じですから、毎秒30万km(1秒間に地球を7回り半)です。従って、1ナノ秒だと、光はわずかに30cmしか進みません。

1秒間に数百万回の計算をなしとげることのできるコンピュータもあります。しかし、これでもまだ

満足してしないのが現実です。発展する情報処理技術は、更に高度な性能を求めて止むところがありません。最近では、1兆分の1秒(ピコ秒)の単位で作動する回路さえ試作されています。



編集後記

十二月の声を聞くとまたたく間に一日一日が過ぎ去ってしまっています。アップル4号の編集に手を初めて約一ヶ月。何とか年内にお届け出来ることとなりました。



学校の一角で準備業務に着手された大鹿さん(右)と大本さん

この事業所は、マイコンを応用した各種システムの開発を手掛ける同グループの応用システム研究所が担当し、将来はマイコンシステム開発の拠点となることが期待されます。

お気付きかと思いますが、今月から、幾つかの連載が始まります。校長先生にお願いする『南向きの大きな窓』と、高校の先生からの『母校からの便り』です。また『南向きの...』では、進路主任の松尾義丸先生に絵筆を奮っていただくことになりました。それぞれお楽しみいただけます。